

タイの洞窟救出に関する支援

- 平成30年6月23日、サッカーチーム所属の少年ら13人が豪雨による浸水によりタイ北部の洞窟(タムルアン洞窟)から出られなくなり、現地ではタイ海軍などが搜索と救出作業を進めていた。
- タイ当局は少年らに洞窟内を潜水させて救出する作戦と並行し、地表で別の穴や亀裂を探し掘って救出する準備も進めていたが、地表は樹木で覆われるなどしているため、穴を探す作業は難航していた。
- そこで、日本側(JAXA/JICA)は、過去に衛星が撮影した解像度の高い地図画像(ALOS/PRISM/DEM)に等高線や洞窟のルート予想図を書き加えて提供した(図1)。また、JAXAの地球観測衛星「ALOS-2」が現地上空を通過する際(7/5夜)に詳細な地形を撮影し、JICAタイ事務所を通じてタイ当局に画像を無償提供した(図2)。
- また、JICAでは排水や土木の専門家などを現地に派遣し、洞窟内への雨水の流入を防ぐために洞窟上部の岩の割れ目をふさぐ作業をしており、この割れ目を探すためにALOS-2観測画像を使用した。
- なお、本救出作業では、JICAタイ事務所の支援に対してタイ国王から感謝状が贈られている。

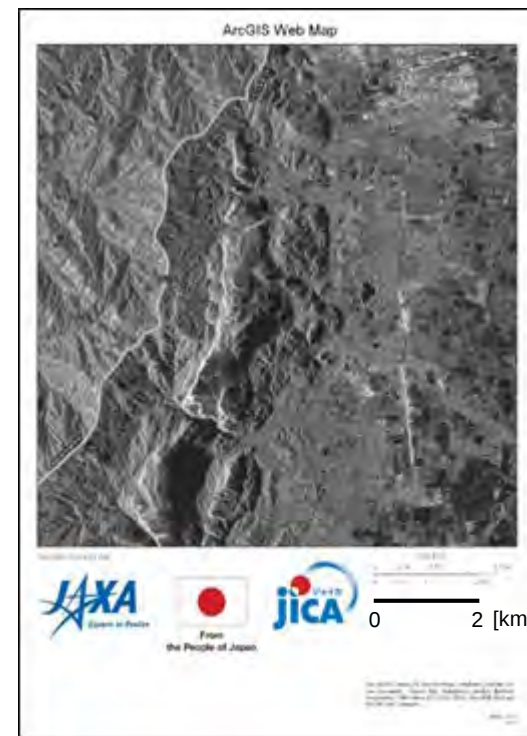


図1. ALOS衛星光学(PRISM/DEM)観測データ/図2. ALOS-2衛星レーダ観測データ
等高線や洞窟のルート予想図を重ねて記載。

熱帯林早期警戒システム(JJ-FAST)の構築・サービス

ALOS-2を用いた森林伐採・変化検出技術を活かして、JICAと共同で「**熱帯林早期警戒システム(JJ-FAST)**」を28(2016)年11月に構築し、平成29年度までに、熱帯雨林のほぼ100%をカバーする77か国について、森林変化を抽出した情報の提供を開始。

これまでに112ヶ国、12,500以上のユーザからアクセスがあった。**新興国や地球上の気候変動によって重要な熱帯林の保護に役立てられる**

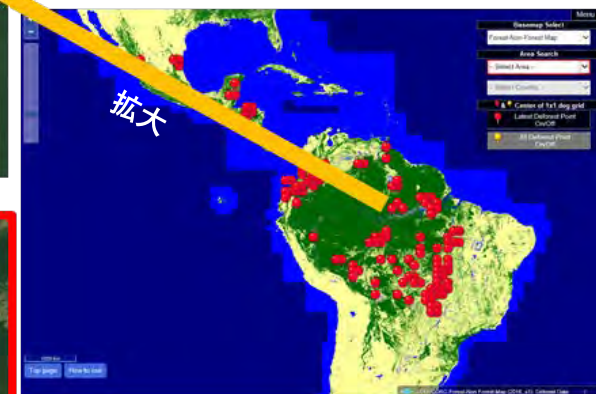
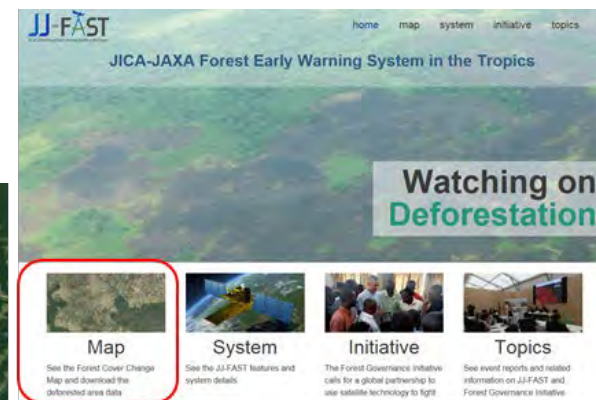
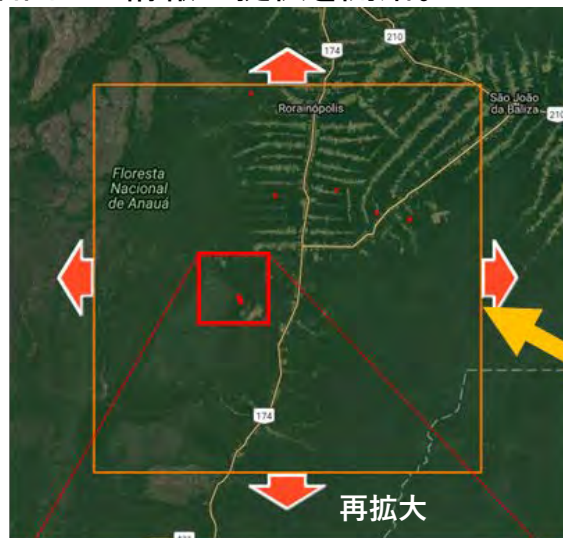
JJ-FASTのサービス対象地域



JJ-FASTにより、モバイル端末等で手軽に熱帯林の伐採・変化のモニタリング情報にアクセスできる。

対象国での利用例

- ・ **ブラジル**：環境・再生可能天然資源院 (IBAMA) で、**JJ-FASTを違法伐採監視に利用**。2018年2月に2,600haの違法伐採の取り締まりに活用され、課徴金の徴収に貢献
- ・ **ペルー**：農業省森林野生動物庁 (SERFOR) で、**JJ-FASTを伐採情報提供システムの一部として利用**



●：熱帯林伐採エリア